

すこやか1組 道徳科学習指導案

日 時:平成30年11月26日(月)第5校時

場 所:すこやか 教室

授業者:中島 浩恵

- 1 主題名 おばあちゃんってすごい
- 2 教材名 「おばあちゃんのおせち」
- 3 主題構成表

<p>■ 内容項目 〔主たる内容項目〕 B 感謝 〔関連性のある内容項目〕 C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</p>	<p>■価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none">・ 行事については、普段意識していないことが多く、話をすると「そういうことだったのか。」と気付くことが多い。中には、「知っている」ということもあるが、その行事と内容が一致しないことがある。そこでおせち料理について触れる。・ 1年生では、おばあちゃんの料理を作る様子を聞いたり見たりして、感謝の気持ちをもつことが大切である。3年生では、おばあちゃんの大変さを実感することで、感謝の気持ちを育むことが大切である。4年生では、おばあちゃんの大変さを知ること、感謝の気持ちを持ち、表現することが大切である。・ 自分がいかに支えられているかを身近な具体的事実を通じて知ること、尊敬と感謝の気持ちに気付かせていく必要がある。	<p>■教材(資料)の分析</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「感謝」とは、ありがたいという気持ちを表すことである。感謝の気持ちは自分のためにしてくれている事柄に気づき、それはどのような思いでしてくれているのかを知ることによって芽生え育まれる。・ おせち料理を通して、普段は気づくことのない「手間」や「くふう」を知り、その「手間」や「くふう」には相手を大切に思う心がこめられていることに気付くことができる。この「手間」や「くふう」に込められた気持ちに気付くことで、自分の周りの人への尊敬や感謝の心を育てることができる。・ 関連する内容項目として、「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」も深く関わる。・ 自分の家族に対して感謝の気持ちをもつことができるようにしていきたい。
<p>■内容項目から見た A(1年)の実態・要因</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自分の思いを伝えることがなかなか難しい。「どういばいいかな」と促すと「ありがとう。」と言える時もある。ことばの意味が理解できていないところが要因だと考える。		
<p>■内容項目から見た B(3年)の実態・要因</p> <ul style="list-style-type: none">・ 家に高齢者が4人いる環境の為、「ありがとう」という言葉は、すぐ出てくるが、感謝の心は薄い。いろんなことをやってもらってあたり前と思っているところが要因だと考える。		
<p>■内容項目から見た C(4年)の実態・要因</p> <ul style="list-style-type: none">・ 慣れていることは言葉で表現できるが、気持ちや初めてのことは、言葉での表現が難しい。自分の気持ちを第一に考え、相手の気持ちを想像することが難しいことが要因だと考える。		

<p>■ねらい</p> <ul style="list-style-type: none">A …おばあちゃんの大変さに気づき、ありがとうという心情を育てる。B …おばあちゃんの大変さを感じることで、おじいちゃんやおばあちゃんに感謝の気持ちを育むことができる。C …おばあちゃんの大変さを知ること、おばあちゃんへの感謝の気持ちを表現しようとする気持ちを育てる。
--

<p>■展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none">・ おせち料理について知る。・ おばあちゃんは、どのようにおせちを作ったのか、気付くことができる。・ 自分たちの生活を支えてくれている人に、感謝の気持ちを持ち、手紙(〇〇さんありがとう)を書く。	<p>■基本発問</p> <p>◎おばあちゃんがそんなに頑張って作るのはどうしてだろう。</p> <p>【〇いもきんとんはどうやって作ったかな。思い出しながらやってみよう。】</p>
---	---

<p>■他の教育活動との関連</p> <ul style="list-style-type: none">・ 生活単元学習でいもきんとんを作った時のことを、さつまいもをつぶす作業が大変だったけれど、がんばって作った姿を紹介し、広める。(朝の会、帰りの会、授業、学級遊び、大縄跳びなど)
--

4 学習指導過程

☆・・・合理的配慮事項

★・・・評価につながる見取り

過程	学習活動（主な発問と予想される児童の反応）	指導上の留意点
導入	<p>1 おせちについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことがある。 ・食べたことがある。 ・おばあちゃんが作ったものを食べたことがある。 ・料理の名前が言える。 	<p>☆おせち カードを貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おせちに関係する発言を聞き出す。そこからふくらませていく。(全員発言ができるようにする) <p>☆おせちの写真を黒板に貼る。</p>
展開前段	<p>2 「おばあちゃんのおせち」の話を聞く。</p> <p>3 いもきんとんってどうやって作ったか、思い出しながらやってみる。</p> <p>いもきんとん作りのつぶす所を動作化する。 (一人ずつ順番にやってみる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなかつぶれない。 ・たいへん。 ・つかれるな。 <p>◎おばあちゃんがそんなに頑張って作るのはどうしてだろう</p>	<p>☆はなしをきく カードを貼る。</p> <p>☆挿絵をみせながら話をする。</p> <p>☆いもきんとんをつくったときカードをはる。</p> <p>T 2：ボール・マッシャー・ラップ スプーン・さつまいもを三人分用意する。 T 2：さつまいもを分ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板の前の長机を調理台とする。 ・動作化している時の表情やつぶやきを拾う。
展開後段	<p>いろいろなものをつくっているおばあちゃんになって考える。</p> <p>豆を煮ている。 野菜を切っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変そう。 ・いろいろやってる。 ・すごい上手。 <p>みんながけがや病気をしないで、健康で元気にすごせますようにと思いながら作っていることを知る。</p>	<p>T 2：おばあちゃん役になり、おせち作りをやって見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くりきんとん一つだけ作っているのではないことを話す。 ・動作化を見ている時の表情やつぶやきを拾う。 【仲間との対話】
終末	<p>4 家の人にどんなことしてもらっているか、話の中のおばあちゃんを自分の家の人におきかえて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごはんを作ってくれる。 ・勉強を教えてくれる。 ・一輪車の練習を一緒にやってくれた。 <p>5 それぞれの顔を見ながら、誰にどんなことを書くのか話をさせて確認してから手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあちゃん、ありがとう。 ・おじいちゃん、一輪車や勉強をみてくれてありがとう。 ・おばあちゃん、ごはんをつくってくれてありがとう。 	<p>☆ヒントカードを用意しておき、必要に応じて提示をする。</p> <p>☆てがみをかく カードを貼る</p> <p>★家族への感謝の気持ちをもつことができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人誰にどんなことを書きたいのか話させる。【自分との対話】